

# 野菜研究室ダイアリー

2025 年 11 月



## ○一気に秋が深まりました

11 月に入り、朝晩はぐっと冷え込むようになりました。ついこの間までは暑さに辟易としていましたが、秋は意外なくらいの駆け足で通り過ぎようとしています。



## ○試験ほ場の野菜たちは順調に育っています

私たちが試験する野菜たちは、温室やハウスで育てています。夜間は必要に応じて暖房し、生育に適した温度を確保します。天気の良い日の日中は、日光がたっぷり降り注ぎ、ハウスの中は文字どおりの温室効果でぽかぽかになります。





イチゴの栽培ほ場では、ミツバチがかいがいしく飛び回っています。  
ミツバチが受粉させてくれるおかげで、イチゴの果実ができます。



野菜の花が真っ盛りです。左はキュウリ、右はナスの花です。



トマトは鈴なり！！



## ○栽培管理とデータ収集に大忙し



イチゴのマルチ張り作業の様子です。



トマトの調査です。



共同で研究を行っている企業の担当者の方にもトマトを見てもらいました。



運搬車でゴー！



収穫も本格化しつつあります。

## ○農業総合試験場公開デーに出展しました



私たちの研究室で育成された  
イチオシ品種の展示。



イチゴ新品種の試食アンケートを行いました。



予約制の野菜研究ミニツアーで、私たちの農場をご案内しました。





## ○愛知県農業試験場は…

周囲を山林に囲まれ、敷地の中にも樹木がたくさん生えています。秋が深まると、道路上に落ち葉がたくさんたまります。



ときどき職員総出で落ち葉掻きをします。



わが国では、明治時代以降の近代都市建設の過程で、あちらこちらに街路樹が植えられました。素敵な景観と涼しい木陰を提供してくれていますが、年月を経て、最近は倒木の危険が生じているケースがあるそうです。また、落ち葉などに対する苦情も増えているとのこと。

農業総合試験場の樹木も適切に管理し、守っていききたいと思います。

愛知県農業総合試験場 園芸研究部 野菜研究室